

## 災害廃棄物の広域処理に関するアンケートへのご協力をお願い

当研究室では、鳥取環境大学、廃棄物工学研究所と共同で、環境問題を解決するための調査・研究を行っております。そのうち環境問題の正確な情報を市民の皆さんと共有する手法開発のため、このたび東日本大震災によって発生した災害廃棄物の広域処分にに関する皆様のご意見・意識についてアンケート調査を実施することになりました。つきましては、ぜひあなた様の、そしてご家族・知人のみな様のご意見を伺いたく、今回調査票を送らせていただきました次第です。調査の結果は環境問題についてのよりよい情報共有のあり方の検討に役立てられます。

お忙しいところ恐縮ですが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成 23 年 12 月 1 日

岡山大学

### 記

1. 返送期間 アンケート用紙にご記入の上、同封の返信用封筒にて  
**12月12日(月)**までに投函下さいますようお願い申し上げます。
2. 抽出・集計 調査対象は 1,000 世帯を電話帳から無作為に選ばせていただきました。調査結果は統計的に処理して、全体の傾向を見るためにのみ使用しますので、無記名でご返送ください。調査結果は研究目的のみ使用し、それ以外の目的には決して使用いたしません。
3. 結果の公表 調査結果は 3 月末頃廃棄物工学研究所 HP にて公表いたします。

以上、よろしくお願いいたします。

この調査票は  
同じものが2通入っています。  
ぜひ、もう1通をご家族・知人の方にも  
お答えいただければ幸いです。

連絡担当:

電話帳から送付先を選んでいるため、  
例年若い方や女性の回答が少ない傾向です。  
若い方や女性の方にもご回答いただければ  
なおありがたいです。

アンケートは裏面から始まります。説明文を読んで質問にお答えください。  
アンケートは3枚あります。

Q1 あなたについて（あてはまる番号に○をつけてください）

- ① 年齢（            才 ）
- ② 性別（ 1. 男    2. 女 ）
- ③ 職業（ 1. 会社員、 2. 公務員、 3. 農業、 4. 主婦、 5. パート・アルバイト、 6. 無職 ）
- ④ 出身地（            県            市 ）
- ⑤ あなたの家の近くに廃棄物の処分場はありますか？（ 1. ある    2. ない ）
- ⑥ あなたの住むまちで廃棄物の処分場建設が問題になったことがありますか？（ 1. ある    2. ない ）



2011年3月に起きた東日本大震災によって、大量の災害廃棄物が発生しました。各県で1年間に発生する一般廃棄物の量と比べると、その量は岩手県で約11年分、宮城県で約19年分です。仮設の焼却処理施設を設置するなどしても間に合わず、廃棄物の仮置き場では自然発火による火事なども起こっています。そのため、国は宮城県と岩手県で発生したがれきなど災害廃棄物の受け入れ・処理について全国の自治体やごみ処理の組合に協力を求めています。（※なお福島県のごみは福島県内で処理することが基本となっています。）

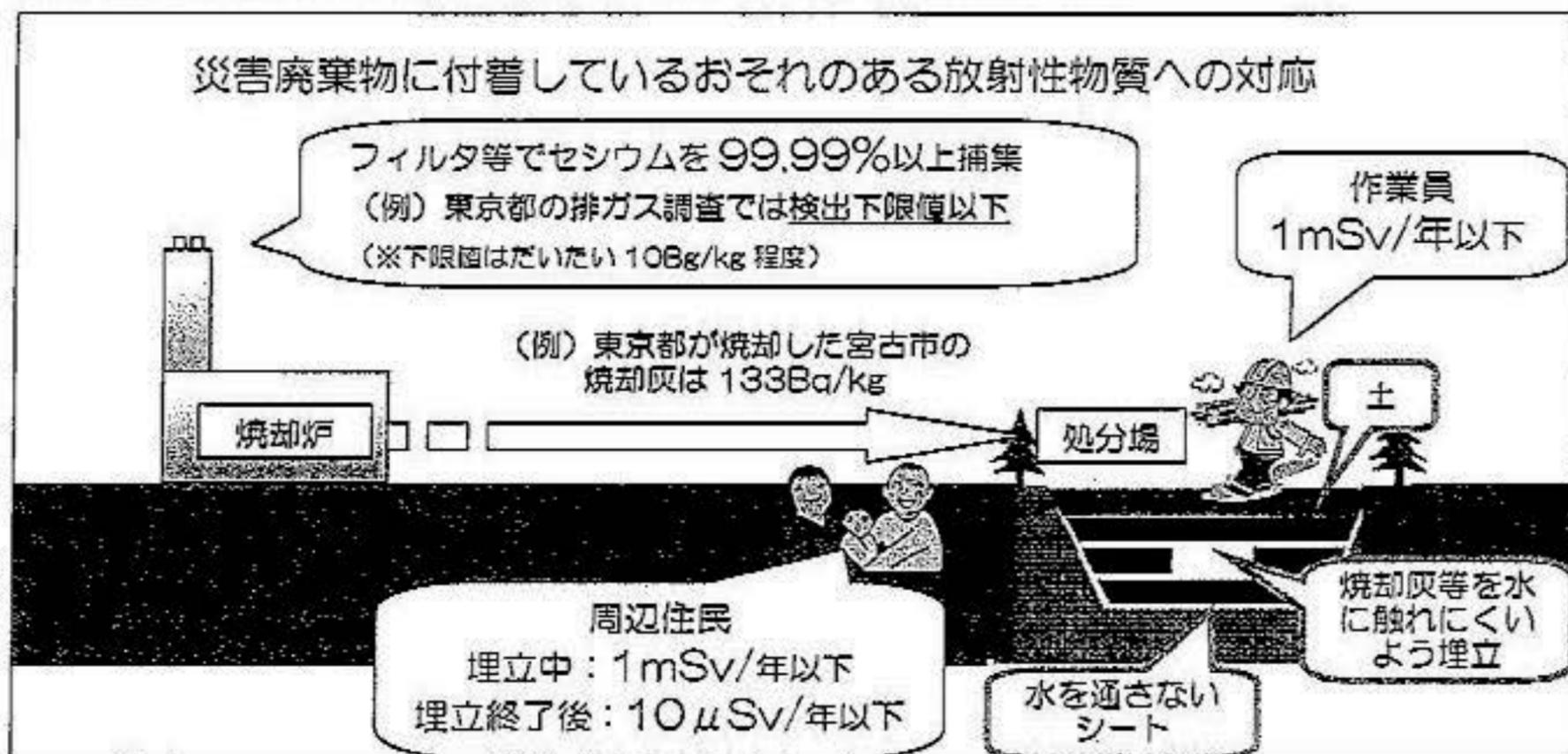
Q1. 岩手県、宮城県の災害廃棄物の受け入れについて

以下のそれぞれの記述に対し「1 とてもそう思う」から「6 そう思わない」の6段階であなたの気持ちに近い番号に○を付けてください。	1 とても そう 思 う	2 まあ まあ そう 思 う	3 え は そ う 思 う	4 ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	5 ど ち ら か と い わ な い	6 あ ま り そ う 思 わ な い	全 く そ う 思 わ な い
1. 岩手県、宮城県の災害廃棄物の処理・処分に他の自治体が協力するのは必要なことだと思う。	1	2	3	4	5	6	6
2. 自分の住む自治体が災害廃棄物を引き受け、処理・処分に協力することに賛成する。	1	2	3	4	5	6	6
3. 被災地を応援したい気持ちはあるが、放射性物質で自分の住む地域が汚染されるのではないかと心配。	1	2	3	4	5	6	6
4. 東北の災害廃棄物はどこの地域のものでも放射性物質でかなり汚染されていると思う。	1	2	3	4	5	6	6
5. 放射性物質が拡散するおそれがあるので、災害廃棄物は発生地域から移動させるべきでないと思う。	1	2	3	4	5	6	6
6. 災害廃棄物の受け入れについて、その安全性が学識経験者などの第三者から示されれば安心できる。	1	2	3	4	5	6	6
7. 災害廃棄物の受け入れについて、その安全性が海外の研究機関から示されれば安心できる。	1	2	3	4	5	6	6
8. 災害廃棄物の受け入れについて、その安全性が行政から示されれば安心できる。	1	2	3	4	5	6	6
9. 行政は災害廃棄物を安全に処理・処分する能力・技術力がある。	1	2	3	4	5	6	6
10. 行政は災害廃棄物に関する情報を適切に公開してくれる。	1	2	3	4	5	6	6
11. 行政は放射性物質の対策を自分と同じような価値観で行うと思う。	1	2	3	4	5	6	6
12. 国が定める方法にしたがって処理・処分が行われれば安全だと思う。	1	2	3	4	5	6	6
13. 行政は市民の安全を第一に災害廃棄物の処理にあたってくれると思う。	1	2	3	4	5	6	6
14. 行政は災害廃棄物の受け入れの可否に関して市民の意見に耳をかたむけてくれると思う。	1	2	3	4	5	6	6
15. 放射線について、安全かそうでないかの基準をはっきり決めてもらいたい。	1	2	3	4	5	6	6
16. ただちに影響はないという説明は、時間がたてば影響が必ず出るという意味だと思う。	1	2	3	4	5	6	6
17. 福島第一原発のような事故が起きて、放射性物質が漏れたのだから健康に影響がないわけがないと思う。	1	2	3	4	5	6	6
18. 福島第一原発事故で放出された放射性物質はチェルノブイリ原発事故で放出されたものより多いと思う。	1	2	3	4	5	6	6



岩手県、宮城県から受け入れられた災害廃棄物は、焼却炉で焼却され、埋立処分場に処分されます。災害廃棄物に付着しているおそれのある放射性物質については、処理施設や処分場では作業員や周辺住民の被ばく量が年間1ミリシーベルト(mSv)以下になるように、処分場の埋立終了後はその100分の1の年間10マイクロシーベルト( $\mu$ Sv)を超えないようにします。そのために焼却炉の排ガスはバグフィルタできれいし、埋め立てる焼却灰の放射能は8,000ベクレル/kg(Bq/kg)以下と決められています。

なお、私たちが普段宇宙や大地から浴びている自然放射線は年間1.5mSvです。



Q2. 放射性物質への対応と放射線に係る単位について

災害廃棄物の広域処理に係る以下の記述に対し「1とてもそう思う」から「6そう思わない」の6段階であなたの気持ちに近い番号に○を付けてください。	とてもそう思う	まあまあそう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	あまりそう思わない	全くそう思わない
1. 上記の対応で、災害廃棄物に付着しているおそれのある放射性物質のリスクは問題ない程度に管理されると思う。	1	2	3	4	5	6
2. 災害廃棄物を受け入れる処理・処分施設周辺の線量が年間1mSv以下に管理されるなら安全だと思う。	1	2	3	4	5	6
3. 焼却炉の排ガスがフィルタで処理されているなら安全だと思う。	1	2	3	4	5	6
4. 焼却炉や処分場の周辺環境の大気や水の放射能レベルに変化がなければ安全だと思う。	1	2	3	4	5	6
5. 専門家が検討して決めた放射線管理の基準なら大丈夫だろうと思う。	1	2	3	4	5	6
6. 受け入れ前に災害廃棄物の放射能の測定がきちんとされていれば大丈夫だと思う。	1	2	3	4	5	6
7. 災害廃棄物を受け入れたら処分場からたくさん放射性物質が浸み出して環境が汚染される可能性が高いと思う。	1	2	3	4	5	6
8. 災害廃棄物を受け入れたら焼却炉からたくさんの放射性物質が放出されて環境が汚染される可能性が高いと思う。	1	2	3	4	5	6
9. 放射線量や放射能に関する数値を見せられても、それが多いか少ないかは良く分からない。	1	2	3	4	5	6
10. シーベルト (Sv) の意味が良く分からない。	1	2	3	4	5	6
11. ベクレル (Bq) の意味が良く分からない。	1	2	3	4	5	6
12. 放射線とは何なのかが良く分からない。	1	2	3	4	5	6

